

『VIEW21』高校版・2020年度「実践AL」授業デザインシート

【教科・科目】	商業・ビジネス基礎
【分野・単元】	企業活動の基礎
【テーマ・作品】	理想の企業像と働き方
【設定時数】	全9時間の中の2時間目
【単元の目標】	事例や議論を通じて、自身の生き方やあり方について考える

時数	学習内容	自校の生徒の特性を踏まえた各時間における教育目標 (身につけさせたい資質・能力)	左記の資質・能力の「学力の3要素」への分類	授業の大まかな流れ	授業における3つの視点の学びに対する指導内容・教師の配慮			育成を目指す資質・能力の評価方法
					主体的な学び	対話的な学び (教師による場づくりへの配慮)	深い学び (教師による思考の活性化・深化への配慮)	
1	・「企業の役割」について考える。 ・企業の根底にある「経営理念」について理解する。	・企業が行っている活動を整理し、把握することができる。 ・企業の役割について、「誰のため」「何のため」「なぜ」の3つに分けて考えることができる。 ・グループ内の他者の意見を聞き入れることができる。	【知識、技能】 【思考力、判断力、表現力】 【主体性、多様性】	①身近な企業を挙げながら、「誰に対して」「どのようなことをしているか」をまとめる。 ②企業の役割について、「誰のため」「何のため」「なぜ」の3つに分けて個人の意見を出す。 ③4人グループで、意見を述べ合い、他者の意見を知る。 ④経営理念が根底にあることを理解する。	身近な事例を使うことで、自分事として課題に取り組むことができるようにする。 ワークシートを使用し、思考を見える化できるようにする。	「話し手のルール」「聞き手のルール」を設定し、生徒が自分の意見を安心して発表できる環境をつくる。	机間指導をしながら、個人に質問して、より具体的に深めていく。	・ワークシート ・グループ内発表
2	・「組織で取り組むことのメリット」について考える。 ・「よい組織」のあり方について知る。	・個人で取り組むことと組織で取り組むことのメリットについて、意見を出すことができる。 ・グループ内の他者の意見を聞き入れることができる。 ・事例を通じて、「よい組織」のあり方について考えることができる。	【思考力、判断力、表現力】 【主体性、多様性】 【知識、技能】 【思考力、判断力】	①「目標達成」を目指す際の「個人で取り組むことのメリット」と「組織で取り組むことのメリット」が何か、個人の意見を出す。 ②4人グループで、意見を述べ合い、他者の意見を知る。 ③「組織で取り組むことのメリット」の代表が「分業」であると知る。 ④事例を通じて、「よい組織」のあり方について考える。	部活動などを例にすることで、個人や組織についてイメージを持ちやすくする。 ワークシートを使用し、思考を見える化できるようにする。	「話し手のルール」「聞き手のルール」を設定し、生徒が自分の意見を安心して発表できる環境をつくる。	机間指導をしながら、個人に質問して、より具体的に深めていく。	・ワークシート ・グループ内発表
3	・企業の資金調達方法について知る。 ・資金調達が成功させるために必要な要素について考える。	・株式調達、社債、クラウドファンディングなどの資金調達方法について知り、それぞれの特性を理解することができる。 ・資金調達が成功させるために必要な要素について、考えることができる。 ・グループ内の他者の意見を聞き入れることができる。	【知識、技能】 【思考力、判断力、表現力】 【主体性、多様性】	①株式調達、社債、クラウドファンディングなどの資金調達方法について知る。 ②それぞれの特性から、どのような事柄で資金調達をするのに適しているのか考える。 ③資金調達が成功させるために必要な要素を考え、個人の意見を出す。 ④4人グループで、意見を述べ合い、他者の意見を知る。 ⑤「ビジョン」が必要不可欠であることを理解する。	事例を使うことにより、イメージを持ちやすくする。 ワークシートを使用し、思考を見える化できるようにする。	「話し手のルール」「聞き手のルール」を設定し、生徒が自分の意見を安心して発表できる環境をつくる。	机間指導をしながら、個人に質問して、より具体的に深めていく。	・ワークシート ・グループ内発表
4	・税金の種類やその利用方法について知る。 ・これからの日本の税金について考える。	・企業が納める税金について知り、それがどのように利用されているのか理解することができる。 ・これからの日本の税金のあり方について、海外の事例などを踏まえて考えることができる。 ・グループ内の他者の意見を聞き入れながら、よりよい意見に昇華させることができる。	【知識、技能】 【思考力、判断力、表現力】 【主体性、多様性、協働性】	①企業が納める税金について知り、その利用方法を学ぶ。 ②海外の税制について知る。 ③これからの日本の税金のあり方について、個人の意見を出す。 ④4人グループで、意見を述べ合い、他者の意見を知る。 ⑤4人グループで、よりよい税制について考え、1つの意見にまとめる。 ⑥グループの意見を発表する。 ⑦税制の必要性や有用性について学ぶ。	事例を使うことにより、イメージを持ちやすくする。 ワークシートを使用し、思考を見える化できるようにする。	「話し手のルール」「聞き手のルール」を設定し、生徒が自分の意見を安心して発表できる環境をつくる。	机間指導をしながら、個人に質問して、より具体的に深めていく。 KJ法などを利用し、意見を分類し、深めやすくする。	・ワークシート ・グループ内発表 ・全体発表
5	・日本の雇用形態について知る。 ・正規社員と非正規社員の違いについて知る。 ・労働形態についての特性を踏まえ、どのような働き方を望むか考える。	・日本の雇用形態について、社会の変化を踏まえて理解することができる。 ・正規社員と非正規社員の違いについて、その特性を踏まえて理解することができる。 ・どのような働き方を望むか、多様な生活スタイルを踏まえて考えることができる。 ・グループ内の他者の意見を聞き入れながら、よりよい意見に昇華させることができる。	【知識、技能】 【知識、技能】 【思考力、判断力、表現力】 【主体性、多様性、協働性】	①日本の雇用形態について、社会の変化を踏まえながら学ぶ。 ②正規社員と非正規社員の違いについて、その特性を踏まえて学ぶ。 ③どのような働き方を望むか、個人の意見を出す。 ④4人グループで、意見を述べ合い、他者の意見を知る。 ⑤4人グループで、生活スタイルと望む働き方について考え、1つの意見にまとめる。 ⑥グループの意見を発表する。 ⑦多様な働き方について学ぶ。	現代の生活スタイル等を取り上げることで、多様な考えが持てるようにする。 ワークシートを使用し、思考を見える化できるようにする。	「話し手のルール」「聞き手のルール」を設定し、生徒が自分の意見を安心して発表できる環境をつくる。	机間指導をしながら、個人に質問して、より具体的に深めていく。 KJ法などを利用し、意見を分類し、深めやすくする。	・ワークシート ・グループ内発表 ・全体発表
6	・雇用に伴う企業の責任について理解する。 ・ブラック企業やホワイト企業とは何かを知る。 ・理想的な雇用形態について考える。	・福利厚生について知り、企業によって私たちの生活が守られていることを理解することができる。 ・ブラック企業の定義を知り、その問題点を理解することができる。 ・働くことが有意義になるような雇用形態について考えることができる。 ・グループ内の他者の意見を聞き入れることができる。	【知識、技能】 【知識、技能】 【思考力、判断力】 【思考力、判断力、表現力】 【主体性、多様性、協働性】	①様々な福利厚生の制度について学ぶ。 ②様々な事例から、ブラック企業の定義とその問題点について学ぶ。 ③働くことが有意義になるような雇用形態について、個人の意見を出す。 ④4人グループで、意見を述べ合い、他者の意見を知る。 ⑤4人グループで、よりよい雇用形態について考え、1つの意見にまとめる。 ⑥グループの意見を発表する。 ⑦労働者として守られたい事柄について学ぶ。	身近な出来事や事例を用いることで、現実的な課題として意識できるようにする。 ワークシートを使用し、思考を見える化できるようにする。	「話し手のルール」「聞き手のルール」を設定し、生徒が自分の意見を安心して発表できる環境をつくる。	机間指導をしながら、個人に質問して、より具体的に深めていく。 KJ法などを利用し、意見を分類し、深めやすくする。	・ワークシート ・グループ内発表 ・全体発表
7	・企業倫理や社会的責任について理解する。 ・企業の不祥事がなぜ起きるのかを考える。 ・コンプライアンスやコーポレートガバナンスの重要性について理解する。	・企業倫理や社会的責任について、社会の変化を踏まえて理解することができる。 ・企業の不祥事がなぜ起きるのか、多様な視点をもって考えることができる。 ・グループ内の他者の意見を聞き入れることができる。 ・コンプライアンスやコーポレートガバナンスの重要性について、自身の生活に照らし合わせて理解することができる。	【知識、技能】 【思考力、判断力、表現力】 【知識、技能】 【主体性、多様性、協働性】 【思考力、判断力】	①企業倫理や社会的責任について学ぶ。 ②企業の不祥事がなぜ起きるのか、個人の意見を出す。 ③4人グループで、意見を述べ合い、他者の意見を知る。 ④4人グループで、不祥事の起きる原因について整理する。 ⑤グループの意見を発表する。 ⑥コンプライアンスやコーポレートガバナンスによって、自身の生活が守られていることを学ぶ。	事例を用いることで、現実的な課題として認識できるようにする。 ワークシートを使用し、思考を見える化できるようにする。	「話し手のルール」「聞き手のルール」を設定し、生徒が自分の意見を安心して発表できる環境をつくる。	机間指導をしながら、個人に質問して、より具体的に深めていく。 KJ法などを利用し、意見を分類し、深めやすくする。	・ワークシート ・グループ内発表 ・全体発表
8	・理想の企業について考える。	・これまでの学習を踏まえ、自身が働く上で重要視することを考える。 ・働くことが楽しみとなるような企業について考える。 ・グループ内の他者の意見を聞き入れることができる。 ・グループの意見をまとめ、発表資料を作成する。	【知識、技能】 【思考力、判断力、表現力】 【思考力、判断力、表現力】 【主体性、多様性、協働性】 【思考力、判断力、表現力】 【主体性、多様性、協働性】	①これまでの学習を振り返り、自身が働く上で重要視することについて、個人の意見を出す。 ②働くことが楽しみとなるような企業について、個人の意見を出す。 ③4人グループで、意見を述べ合い、他者の意見を知る。 ④4人グループで、理想の企業についてまとめる。 ⑤発表資料を作成し、発表の準備を行う。	生徒自身の将来像を考えさせることで、自分の課題として意識できるようにする。 ワークシートを使用し、思考を見える化できるようにする。	「話し手のルール」「聞き手のルール」を設定し、生徒が自分の意見を安心して発表できる環境をつくる。	机間指導をしながら、個人に質問して、より具体的に深めていく。 KJ法などを利用し、意見を分類し、深めやすくする。	・ワークシート ・グループ内発表 ・発表資料
9	・理想の企業について発表する。 ・多様な考え方の中にある共通項を捉える。	・理想の企業について、効果的に発表することができる。 ・多様な考え方の中から、共通する項目を見出すことができる。	【思考力、判断力、表現力】 【主体性、多様性、協働性】	①各グループ3分間で、全体に発表をする。 ②発表で気づいたことや、自分のグループで出てなかった意見をワークシートに記入する。 ③共通する言葉などから、根底にある土台となる考えを捉える。	評価を随時行うことで、発表に対する意欲が向上するようにする。	「話し手のルール」「聞き手のルール」を設定し、生徒が発表を安心してできる環境をつくる。	発表内容の要点などを板書し、生徒がより他者の意見を理解しやすくする。	・全体発表 ・発表資料